

シンポジウム「GISを用いた防災・減災の最前線」

【主催】 日本建築学会 情報システム技術委員会 地域空間情報モデリング小委員会

日時：2015年1月23日(金) 14時～17時30分 (受付開始は13時30分)

場所：建築会館・本会会議室 (東京都港区芝5-26-20)

* 部屋番号は当日電子掲示板にてご確認ください

近年、これまでに経験したことのない多様な災害の対応に関して、多くの課題が明らかになりました。また、今後起こりうる災害の備えとして、高度なGIS(地理情報システム)を用いた都市・地域のシミュレーション技術は、防災・減災に関する避難情報の伝達やマルチハザードマップをはじめ多方面の分野で応用されています。今回、これらGISの環境情報技術を主体として、防災・減災に関して、分野横断的、実践的に取り組みをされ、かつ、それぞれの分野の最前線で活躍されている方々に報告をしていただきます。さらに、今後の展望として、情報化社会に対応した都市・地域計画におけるGISと自然環境・資源管理・地域防災計画・避難施設配置・地域コミュニティのあり方等も視野に入れ、生命を守るシステムの構築に向け、解決策を提示したいと考えます。よって、多様な分野の政策立案者、計画者、研究者、設計者、デザイナー、技術者、学生ほか、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

前半：話題提供 発表予定者(敬省略) 一題当たり20分

01. 大内 宏友 「沿岸域における可視化モデル構築による計画設計手法」
日本大学 生産工学部 建築工学科 教授
02. 矢野 達也 「社会・産業の発展に寄与する「モバイル空間統計」」
(株)NTTドコモ スマートライフビジネス本部 スマートライフ推進部 ビジネス基盤推進室 ビジネス戦略・CRM戦略担当課長
03. 足立 龍太郎 「位置情報ビッグデータの活用可能性」
(株)ゼンリンデータコム | 営業戦略室
04. 古橋 大地 「オープンな地理データの取得と活用」
マップコンシェルジュ(株)社長/OSGeo 財団理事/オープンストリートマップ・ファウンデーション・ジャパン 副理事長
05. 小泉 和久 「自治体における GIS 情報の管理・発信(GIS マネージメント)の取組み」
浦安市 財務部 市民税課 税制係長 (元情報政策課)
06. 五関 利幸 「災害マネジメントサイクルにおける地理空間情報の取得と活用」
(株)パスコ 技術統括本部 本社技術部 主任技師
07. 野村 美通 「地盤保証の現状と今後の展望」
M&K コンサルタンツ(株) 代表取締役

後半：ディスカッション 60分

モデレーター：河中 俊 国土交通省 国土技術政策総合研究所、田中 みさ子 大阪産業大学

総括：中澤 公伯 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科

司会：山田 悟史 中央大学 理工学部 人間総合理工学科

記録：藤井 健史 立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科

定員 60名(申込み先着順)

参加費 会員1,500円、会員外2,000円、学生1,000円(資料代含む、当日徴収)

申込方法 E-mailで「催物名称、上記参加費種別および(本会会員の場合)会員番号、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス」を明記のうえお申し込みください。

* 会員番号の記載がない場合は、会員外として扱わせていただきます。ご了承ください。

* 定員に達した場合にお断りの方のみにご連絡します。

申込締切 2015年1月8日(木)

申込み・問合せ 事務局研究事業グループ 伏見 E-mail: fushimi@aij.or.jp